

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成22年度 第2回小山公民館運営協議会		
事務局 (担当課)	小山公民館 電話042-755-7500 (直通)		
開催日時	平成22年11月18日(木) 午後7時30分～8時45分		
開催場所	小山公民館 1階 中会議室		
出席者	委員	16人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	1人(館長代理)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>あいさつ 委嘱式 議 題</p> <p>1 事業結果及び今後の事業について</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 体育事業 (2) 文化事業 (3) 青少年健全育成事業 (4) 広報事業 (5) 利用者懇談会</p> <p>2 今年度の諸課題について</p> <p>3 その他</p>		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

### 【あいさつ】

- ・竹内博之会長（公民館長）あいさつ

<議長：武井弘吉>

### 【議 題】

#### 1 事業結果及び今後の事業について

(1) 体育事業については、宮崎委員（体育部副部長）が説明を行った。

- ソフトボール大会、ゲートボール大会、軟式野球大会、ビーチボール大会、ふるさとまつり（盆踊り大会、地区運動会）、市民ビーチボール大会（市体指連協主催）、少年野球大会、卓球大会の結果と、今後のスポーツ大会等の開催予定について説明した。
- 2月開催のNewスポーツ教室で取り上げる新しいスポーツは、直近の体育部会で決定する予定で、気軽に楽しめるものを選んでいきたい。

(2) 文化事業については、永富委員（文化部長）が説明を行った。

- ミニウォーク、地域資料編纂、初心者パソコン教室、地域講座、高齢者学級、女性学級、公民館まつり、1日ハイクの結果と今後の講座等の開催予定について説明した。
- ミニウォークは暑い時期の参加者が少なかった。来年度は健康面も考慮して、暑い時期の実施については再検討したい。
- 公民館まつりは、台風の影響で通常より参加者が少なかったのが残念であったが、昨年度スタートしたこども絵画展では出品者が50名近くも増えて、公民館まつりの新しい企画として定着しつつある。
- 地域資料編纂事業については、今年度は地域の歴史資料を収集し、来年度には編集を行い、再来年度製本化することを目指している。製本に掛かる費用については、地域活性化交付金での対応も視野に入れている。
- 高齢者学級と女性学級の活動状況について説明した。今年度、高齢者学級は77名もの申込みがあり、皆勤賞が続出するなど、参加者が大変積極的に活動している。しかし、一方で、女性学級は良い企画であるにもかかわらず、毎年度申込みは10名余りと盛り上がり欠ける現状にある。働く女性が増えている現在、女性学級はPR・開催の方法等について、検討していく必要があると考える。

(3) 青少年健全育成事業については、坂内委員（地区子ども会育成連絡協議会会長・地区青少年健全育成協議会会長）が、遊y o uラン土については鈴木委員（文化部副部長・子ども事業班）が説明を行った。

○夜間パトロール（夏休み及び年末に実施）と、12月に行われるメルヘンランドの内容、2月の開催を予定している保護者等を対象とする講演会の講師候補者（小宮路 敏氏）と講演のテーマについて説明した。

○遊y o uラン土の結果と今後の予定について説明した。

(4) 広報事業のうち、広報については永富委員（文化部長・広報事業班）が、ホームページについては村田委員（文化部副部長・広報事業班長）が説明を行った。

〈広報について〉

○8月1日、公民館・自治連・社協等の重要な地域情報を一元化した情報紙「おやま広報」を創刊したことを説明した。現在、2か月に1回、偶数月に発行し、全戸配布している。また、館報コンクールには出品できるが、公民館部門の記事のみが審査の対象になるということである。

〈ホームページについて〉

○今年度スタートした新しいシリーズ「キラリこのひと」では、公民館で活躍している人たちを紹介している。

○小山公民館HPが高く評価され、7月17日、群馬県生涯学習センターから私（村田委員）が講師として呼ばれた。同センターでは小山公民館HPが先進事例として紹介され、事例発表を行った。

○小山公民館のHPアクセス数は市内公民館の中で常に上位に位置しているが、10月は2位であった。

(5) 利用者懇談会について、臼井委員（利用者懇談会長）が説明を行った。

○ミュージック・フェスタや公民館大そうじ等、利用者懇談会の取組みについて説明した。これら取組みのうち、ダンスパーティについては開催するか否か現在検討中である。また、同懇談会が担当した公民館まつりのステージ部門については、雨天時の進行に関し改善すべき点があることに言及した。

《主な意見等》

○遊y o uラン土に参加する子どもたちは固定的であるのか。また、参加人数をもっと増やせるか。

⇒○小山地区全体から地域の偏りなく参加しており、新たに参加してくる子どもが多い。また、内容によっては講師が教えられる人数に限りがあり、人数制限をかけざるをえないケースがあるため、参加人数をどこまでも増や

せるわけではない。

○HPの「キラリこのひと」の質問や回答が割りと普通の内容なので、もっとその人の秀でた点や特技などを載せたら良いと思うのだが。

⇒○今は館長や専門部の部長・副部長たちへのインタビューが続いているから立场上硬い話が多いが、来年度になればもっと自由な立場の人たちにスポットを当てていく予定なので、そのときには変わらと思う。

○「おやま広報」を参考にしたいという話が3つの自治連から来ている。今後は、こうした地域が一体となった形態の広報紙が広がっていくだろうと思う。

\*以上、意見等が交わされた後、各報告は了解された。

## 2 今年度の諸課題について

(1) 公民館の大規模改修及び増改築について、事務局が説明を行った。

- 今年度実施する予定だった設計は、市の厳しい財政状況により先延ばしになっている。
- しかし、このほど市総合計画 前期実施計画（素案）に「小山公民館大規模改修事業計画」が掲載され、小山地区としても改修検討委員会で同公民館の改修・増改築の方向性が固まったので、正式に「要望書」を教育委員会に提出する。
- その後、この要望書の内容を元に、改修検討委員会において、市の生涯学習課や設計担当課とともに検討を重ねていくこととする。

(2) 次期 体育指導委員及び体育部員の委嘱換えについて、事務局が説明を行った。

- 体育指導委員の任期満了（平成22年度末）に伴う委嘱換え及び館長推薦について、スポーツ課からの正式な依頼により具体的な内容と日程が固まったので、それらについて説明を行った。そして、体育部員の中から館長推薦に向け、体指候補者を8名挙げていただきたい旨の依頼をした。
- また、体育部員の任期満了（平成22年度末）に伴う委嘱換えについては、部員を辞める人がいること、また各自治会に最低でも1人は部員がいる形が望ましいことから、現体育部員も候補者を探すか、併せて、現在部員がいない自治会では候補者を探し推薦していただきたい旨の依頼をした。

\*以上、各報告は了解された。

## 3 その他

小山公民館視察研修会の実施について、事務局が説明を行った。

- 視察研修会は3月6日に実施し、吉野梅郷（青梅市）にある吉川英治記念館や、

その近郊にある玉堂美術館等を視察するプランを挙げたところ、全委員が賛同したため、同プランを採用することとなった。

\*以上、報告は了解された。

以 上

平成22年度 第1回小山公民館運営協議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	竹 内 博 之	公民館	会 長	出席
2	小 川 瞬 治	向陽小学校		欠席
3	永 井 博	小山中学校		出席
4	武 井 弘 吉	小山地区自治会連合会	議 長	出席
5	渡 辺 久 次	向陽町自治会		出席
6	手 塚 淳	相模原駅前自治会		出席
7	安 藤 孝 洋	久保原自治会		出席
8	久 保 田 昇	小山地区社会福祉協議会	副議長	出席
9	大 谷 久 助	小山地区老人クラブ連合会	監 事	欠席
10	坂 内 ツ ナ 子	小山地区子ども会育成連絡協議会 小山地区青少年健全育成協議会		出席
11	野 口 久 美 子	向陽小学校PTA		欠席
12	岩 元 千 波	小山中学校PTA		欠席
13	中 島 孝 規	公民館体育部		欠席
14	宮 崎 勝	公民館体育部		出席
15	永 富 多 美 子	公民館文化部 健康づくり普及員		出席
16	鈴 木 光 夫	公民館文化部		出席
17	村 田 真 人	公民館文化部		出席
18	森 下 春 夫	体育指導委員		出席
19	吉 澤 勇	青少年指導員		出席
20	滝 口 博 雄	向陽こどもセンター		欠席
21	臼 井 孝 作	利用サークル	会 計	出席
22	新 井 豊	利用サークル		欠席
23	梅 谷 令 子	公募		欠席
24	日 高 み ち よ	公募		出席